

2 学年 音楽 ガイダンス・シラバス

担当 岡田 寛子

1. 音楽を学ぶねらい

表現や鑑賞の幅広い活動を通して音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め豊かな情操を養う。

2. 学習目標

表現と鑑賞の能力を育てる。表現では音楽への興味と関心を養い、音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫する能力を養う。鑑賞では多様な音楽に対する理解を深め、音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を養う。

3. 持ち物

①教科書 ②音楽のキャンパス ③コーラスフェスティバル ④筆記用具

4. 学習の評価と方法

〈知識・技能〉〈思考・判断・表現〉〈主体的に学習に取り組む態度〉

評価の観点	評価の方法
I 知識・技能	(ア) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。(イ) 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。【定期テスト】【実技テスト】【演奏発表】【提出物】
II 思考・判断・表現	(ア) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを感じて聴いている。【定期テスト】【実技テスト】【鑑賞の場合は批評文】
III 主体的に取り組む態度	(ア) 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。【実技テスト】【定期テスト】【授業の取組の様子】【ワークの記述】

5. 先生からのアドバイス

すべての単元に興味関心を持ち、前向きに学習に取り組むことが成績向上につながります。苦手なことにもまずは取り組んでみましょう。努力した時間は無駄にはなりません。そして、音楽の楽しさや、美しさを感じて楽しみながら活動に取り組みましょう。音楽を愛する心を持ち続けることが大切です。

6.年間学習計画

学期	単元名と内容	学習のポイントと目標	評価の観点
1	1. 歌唱 【曲想を生かして、表現を工夫しよう】 「夏の思い出」 【混声3部合唱】音楽祭に向けて 課題曲「 」 自由曲「 」 2. 鑑賞 【カンツォーネのよさや美しさを味わい、表現を工夫しよう】 ① 「サンタルチア」 【曲の構成を理解して、曲想を味わおう】 ① 「小フーガ ト短調」(バッハ) 3. 楽典 「拍子や曲の形式の理解」	・歌唱の授業を通して正しい姿勢で堂々と歌い、美しい響きを作ることを身に付ける。 ・江間章子、中田喜直の生涯や作風を理解する。 ・詩の内容や言葉と旋律を理解して歌唱する。 ・音楽を形づくっている要素や構造と曲想の関わりを感じ取って聴き、変化を聞き取る力を育てる。 ・音楽祭を通して、表現力や合唱を愛好する心情、仲間と協力して合唱をつくりあげる力を育てる。 ・楽曲の特徴を理解して聴き、音楽のよさや美しさを味わえるようにする。 ・パイプオルガンの多彩な音色と豊かな響きを多声音楽の特徴とかかわらせながら楽曲全体を味わって鑑賞する能力を育てる。 ・バッハやバロック時代について学習する。 ・単純拍子と複合拍子、1～3部形式を理解する。	【評価の観点】 ・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に取り組む態度 【評価の方法】 1. 期末考査 楽典、詩の内容、作詞、作曲者、楽典についてなどの知識・理解を問う問題を出題する。 2. 実技テスト 大きな声で堂々と歌うこと。また、音程、表現等を評価する。 3. 授業の取組 主体的に学習に取り組み、自己の表現ができているか等を評価する。
2	1. 歌唱 【詩と音楽とのかかわりを理解して、表現を工夫しよう】 ①「荒城の月」(滝廉太郎) 【混声3部合唱】 ～音楽祭に向けて～ 課題曲・自由曲 【曲の構成を理解して、曲想を味わおう】 2. 鑑賞 「交響曲第5番」ベートーヴェン	・曲にふさわしい表現を考え歌唱する活動を通して、情景、旋律、リズムが生み出す雰囲気を感じ、表現する技能を育てる。 ・音楽祭を通して、表現力や合唱を愛好する心情、仲間と協力して合唱をつくりあげる力を育てる。 ・ベートーヴェン、古典派時代について学習する。 ・オーケストラの編成や、使用楽器について学習する。 ・音楽を形づくっているリズム、旋律、形	【評価の観点】 1 学期と同様 【評価方法】 1. 期末考査 1 学期と同様 2. 鑑賞ノート 1 学期と同様 3. 授業の取組 1 学期と同様

	3, 楽典 音程について	式、構成や構造と曲想との関わりに関心をもち、聴く活動に主体的に取り組む。 ・長調と短調の持つ意味について学習する。	
3	1 合唱【混声 3 部合唱】 全校合唱曲 卒業式歌 2. 鑑賞 【オペラの特徴を理解して、その魅力を味わおう】 ①「アイーダ」 【歌舞伎の特徴を理解して、その魅力を味わおう】 ②「勧進帳」 3. 器楽 「さくらさくら」	・合唱を通して、表現力や合唱を愛好する心情、仲間と協力して合唱を作り上げる力を育てる。 ・オペラに親しみ、音色、速度、旋律、強弱などが生み出す音楽の特徴を物語の展開と関連付けて理解し、総合的な芸術としての歌劇のよさや美しさを味わって聴く能力を育てる。 ・日本の伝統芸能である歌舞伎に興味・関心をもち、歌舞伎の独特な表現の美しさを味わわせ、我が国の音楽に親しむ心情を育ませる。 ・琴の基本的な奏法を身に付け、楽曲で実践する。	【評価の観点】 1 学期と同様 【評価方法】 1. 期末考査 1 学期と同様 2. 鑑賞ノート 1 学期と同様 3. 授業の取組 1 学期と同様